

チャレンジ工房news

第 99 号 2019 年 6 月発行

発行先 パソコン工房チャレンジ

編集責任者 曲 圭子

工房の日々

まだ梅雨シーズン前なのに、毎日 30 度の「真夏日」のような暑さが続いています、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

今の時期で「真夏日」が続いていたら、7 月・8 月の本格的な夏になったら、「きっと、40 度近い、猛暑日が続出するのかなあ」と思うと今から気が重くなりそうな感じです。

ちょうど、これから梅雨シーズンに入るので「大雨の日」や「猛暑日の日」には、無理な通所や外出をできるだけ控え、各自の体調管理に努めて頂きますようお願いいたします。

当工房の開所当時より、自ら営んでおられる工務店のお仕事の合間に軽トラックで来られている最年長の K さんは「ある程度、自分で Word で手紙などの文書や工務店の見積書や請求書は作れるようになったけど、今度は自分で撮った写真を Word に取り入れたり、インターネットやメールの勉強をしてみたい」と言われて来ました。

K さんは、工務店の仕事がひと段落された 70 歳からのパソコンへのチャレンジで、通い始められた頃は、「パソコンの電源のつけ方」「消し方」はもちろんのこと、Word で文書を入力することが「やっと」といった感じでした。

その後、何年かかかって初心者向けのやさしい Word のテキストを繰り返し何冊も丁寧にされて、今では工務店の請求書や見積書を自宅ですべて作って来られるまでになりました。 スタッフ間で「そこまで上達されたこと」を喜んでいきます。

九州の同級生や親戚に近況報告をするための手紙に、自らカメラで撮ったお花の写真を入れようとされていたので、Word でもできる「トリミングの仕方」や「写真の明るさ・写真の色合いを変える方法」を少しアドバイスをさせてもらおうと「わあ Word でこんなこともあんなこともできるようになったんや」と色合いを変えたり 明るさを調整したりと色々試されていました。

最近、Office2019 付きの高性能な新機種の新しいノートパソコンを新調され、「これなら新機種だし、高性能なパソコンだから、きっとあまりスタッフに迷惑かけなくても済むわ」と言って笑っておられます。

マイクロソフトの Office もバージョンを追うごとに進化していて、文書作成にとどまらず、描画ツールや画像処理の機能が充実されてきているので、また新たに覚えてもらうことが増えて大変ですが、楽しみながら覚えてもらうことができればと思っています。

今後の予定

今後の予定は未定です。

※所員さんには、決まりしだいお知らせします。



体験教室へ来られませんか・・・～パソコン好きな障害者のお仲間大募集～

当工房パソコン工房チャレンジは、就労意欲を持つ障害者の雇用創出の場、一般企業に就職を目指す障害者や社会参加を志している障害者のパソコン研修の場、地域の障害者の居場所として 2011 年の春、設立しました。

開所以降、Word・Excel を始め、画像編集ソフト イラストレーターのス킬アップのための研修に取り組んできました。さらに、就職の採用面接時に有利なパソコン検定や MOSS 試験などに挑戦したり、イラストレーター等のグラフィックソフトを使って、オリジナルのデザイン・イラストを作って、カレンダーやレターセット、ポストカードのオリジナル商品に仕上げ、多少の工賃を得るといった活動をしています。

この度、新規のパソコン仲間を募集します。下記の日程で 3 日間の「パソコン体験教室」を開催しますのでどうぞおいでください。

つきまして、「パソコンのスキルはあるけど、なかなか就労に結びつかない重度障害者の方」、「来春、特別支援学校高等部卒業予定の方で今後の自立のためにパソコンのスキルを磨きたい方」、「これから趣味の 1 つとしてパソコンを始められようとしている方」で障害者手帳をお持ちの方なら、無料でご参加して頂けます。

障害を持つスタッフがピア的な視点に立って、丁寧に教えますので、初心者の方、重度障害者の方、大歓迎です。

お申し込み・お問い合わせ先 電話:06-4981-8120 メール:challengeama@yahoo.co.jp 担当:広瀬・曲(まがり)

日時	講座内容
7月2日(火) 午後1時～3時	Word 編 Word を使って、色んなメッセージカードを作ってみましょう
7月9日(火) 午後1時～3時	Excel 編 Excel を使って、色んなグラフを作ってみましょう。
7月18日(木) 午後1時～3時	インターネット編 興味があるホームページを検索してインターネットに触れてみましょう。

※ テキストなどの準備がありますので、必ず事前に申し込んでください。

ご存知ですか～大雨警戒レベル～

昨年、中国・四国地方に大災害をもたらした「西日本集中豪雨」での教訓のもとに、「国民の防災意識」を高めることを目的に、国は洪水や土砂災害時における警戒レベルを数値化して、そのとき私たち国民がとるべき行動をまとめました。もし、研修中に大雨・洪水などの警報が発令された場合、安全性を確かめた上で臨時休所し、所員・スタッフともに順次帰宅してもらう措置を取っています。

所員さんにおかれましては、帰宅時に交通網が寸断されることもあるので「大雨の日」や少しでも体感に感じられる揺れや地震があった日は、無理に通所せず、各自自宅で自主研修をしてもらうように、お願いします。

洪水・土砂災害の警戒レベル分け		
	避難・防災気象情報など	住民がとるべき行動
高い	警戒レベル 5 災害の発生情報	命を守るための最善の行動
危険度	警戒レベル 4 避難指示(市区町村) 避難勧告(市区町村) 土砂災害警戒情報(都道府県・気象庁)	屋内待避など直ちに命を守る行動 速やかに立ち退き避難
	警戒レベル 3 避難準備・高齢者等避難開始(市区町村) 洪水・大雨警報(気象庁)	高齢者などは立ち退き避難。そのほかは避難の準備
	警戒レベル 2 洪水・大雨注意報(気象庁)	避難に備え、避難行動を確認
低い	警戒レベル 1 警報級の可能性(気象庁)	災害への心構えを高める